

第46回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日時 平成18年7月13日(木)14:00~21:00
場所 尼崎市立女性・勤労婦人センター 視聴覚室
出席者 (委員)松本(誠)、池淵、奥西、川谷、畑、村岡、岡田、加藤、佐々木、中川、
浅見、法西、伊藤、草薙、酒井、谷田、土谷
(河川管理者)田中、森田、渡邊、前川、前田、西村、合田
(河川整備課)窪田、寒川
(事務局)林、長尾、植田、木本

内容(協議結果)

1 総合治水対策の検討

(1) 第46回流域委員会傍聴者意見について

第46回流域委員会での傍聴者意見(現況流下能力への疑問)に対する県の回答について協議した結果、下記のことを確認した。

阪神電鉄橋梁の水位計のデータが判明し、平成16年台風23号時の痕跡水位とほぼ一致したが、平成16年の23号台風時のデータしかないため、治水計画を作成する上ではこれらの実績水位データに基づく逆算粗度に依拠するわけにはいかない。

今後も計画の精度を上げていくため、河道横断、河床材料、実績水位(痕跡水位)等のデータを蓄積していく必要がある旨を提言に盛り込む。

県の回答文書である「第46回流域委員会傍聴者意見について」は傍聴者意見の指摘に沿って修正、加筆の上、総合治水ワーキングチーム会議に改めて報告する。

(2) 掘込河道区間における河道改修の検討

「掘込河道区間における河道改修の概要」について、河川管理者より説明があり、協議した結果下記のことを確認した。

掘込河道区間のリバーサイド住宅地点において県が検討している河川改修区間については、河床掘削、河道拡幅等、複数の改修上乘せ案の説明があった。この複数案の課題整理を次回総合治水ワーキングチーム会議に提出し、継続協議を行う。

宝塚の見返り岩については、整備計画で撤去の必要はないが、基本方針においては流下能力が不足するため撤去する必要があるとの説明が県からあった。これについては環境、景観上課題があるものとして将来の課題とする。

(3) 堤防強化等の検討

「堤防強化実施予定箇所図」について河川管理者より説明があり、また、「武庫川狭隘部の引堤、阪急橋梁」、「河道狭窄部の拡幅と都市的対応策」についてそれぞれ、伊藤委員、佐々木委員より説明があった。これらを踏まえ協議した結果、下記のことを確認した。

河道の流下能力が不足する箇所について、堤防強化、河川改修(河床掘削、引堤等)、危機管理のいずれで対応するのか整理を行う。

7月18日13時より、河道の流下能力が不足する箇所の現地調査を行う。

引堤等を提言に検討課題として盛り込む際には、どのような課題があるのか整理する。

(4) 土砂対策の検討

「砂防堰堤の設置状況」等について、河川管理者より説明があり、協議した結果、下記のことを確認した。

土砂対策に関連した、モニタリング、今後長期的に行う必要があると考えられる調査について、次回総合治水ワーキングチーム会議に各委員は提案する。

(5) 流域関係7市ヒアリング

「流域関係7市のヒアリング結果を踏まえて」について、加藤委員より説明があり、協議した結果、次回総合治水ワーキングチーム会議で継続協議を行うこととなった。

2 その他

(1) 次回以降の会議の協議事項

総合治水対策

(2) 今後の日程（開催日時）

第47回 7月21日（金）13：30～

第48回 7月28日（金）15：00～

第49回 8月4日（金）13：30～

当日配付資料

- 資料1 堤防強化実施予定箇所図
- 資料2 掘込河道区間における河道改修の概要
- 資料3 武庫川河川改修の全体計画書
- 資料4-1 武庫川 河道改修による環境保全の方針等について
- 資料4-2 武庫川 洪水処理施設に関する環境評価について
- 資料5-1 砂防堰堤の設置状況
- 資料5-2 平成16年台風23号による土砂堆積等の状況
- 資料5-3 平成16年台風23号後の土砂掘削位置図
- 資料6 超過洪水対策について
- 資料7 河道狭窄部の拡幅と都市的対応策（まちづくりWG提言案より）
- 資料8 第46回流域委員会傍聴者意見について
- 資料9-1 意見書：河道の粗度係数について（奥西委員）
- 資料9-2 武庫川狭隘部の引堤（伊藤委員）
- 資料9-3 阪急橋梁（伊藤委員）
- 資料9-4 流域関係7市のヒアリング結果を踏まえて（加藤委員）
- 当日配布 意見書（田村委員）
- 当日配布 旧江戸川都市河川総合整備事業（佐々木委員）